



2025年2月13日

各 位

会 社 名 竹田iPホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 COO 木全 幸治
(コード番号 7875 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 常 務 取 締 役 CFO 細野 浩之
TEL 052- 871-6351

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえまして、2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期の通期連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 [A]	33,000	1,100	1,200	900	108.17
今回修正予想 [B]	33,500	1,300	1,400	900	108.26
増 減 額 [B-A]	500	200	200	0	
増 減 率 (%)	1.5	18.2	16.7	0.0	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	31,669	820	932	851	103.00

2. 修正の理由

情報コミュニケーションでは、印刷事業において紙媒体需要を着実に取り込むとともに、人件費の高騰に対する販売価格への転嫁が浸透したため業況が回復しております。また、グローバルパッケージ事業やロジスティクス(BPOサポート)事業も好調に推移しております。ソリューションセールスでは、資材販売・機械販売ともに堅調に推移し、半導体関連マスクも市場の回復に伴い回復基調となったため、売上高が前回予想を上回る見込みとなりました。

利益面では、増収効果のほか、情報コミュニケーションでは印刷物に限らない様々なソリューションを複合的且つ効果的に組み合わせた付加価値の高いワンストップソリューション提案を強化していることに加えまして、ソリューションセールスや半導体関連マスクも安定した収益を確保しているため、営業利益、経常利益につきましても前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、第4四半期において、事業構造改革に伴う拠点の統廃合による特別損失の計上を見込んでいることから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を据え置くことといたします。そのため、2025年3月期の期末配当予想は変更しておりません。

(注)業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

以上